

パラアスリー卜の雇用と現状について

○ 矢嶋 志穂
株式会社ゼネラルパートナーズ
企業在籍型ジョブコーチ
スポーツ・コンプライアンス・オフィサー

【自己紹介】

所属：株式会社ゼネラルパートナーズ
企業在籍型ジョブコーチ
スポーツ・コンプライアンス・オフィサー
企業登録アスリート

雇用形態：競技両立型アスリート雇用

障害について：上肢下肢障がい 聴覚障害
視覚障害 膀胱機能障害



業務について

知的・発達障害専任キャリアアドバイザー
パラアスリートキャリアアドバイザー

超人スポーツ協会にて
技術開発・イベント運営

超人スポーツとは？

人間の身体能力を補綴・拡張する人間拡張工学に基づき、人の身体能力を超える力を身につけ「人を超える」、あるいは年齢や障碍などの身体差により生じる「人と人のバリアを超える」

登録者と概要について

2024年4月1日～2025年3月31日までの
登録者と概要

全国からの総登録者数:非公開

(知的・精神・身体・手帳未登録者)

アスリートについては全国規模応募が可能

登録者の比率は身体障がいが多く、レベル感
は幅広い。

パラリンピック以外の種目の登録も多い。

年齢幅は18歳～60代と幅広いが20代～40代前半の登録者数が多くみられる。

また男女比率では男性の登録が多い傾向。

レベル感について

- パラリンピック・連盟育成・強化指定選手
- 国内大会(全日本選手権・JPパラリンピック)
- 全国障害者スポーツ大会・各地域大会

4)登録から決定について

① 登録が来た場合

必ず全員にメールまたは電話にて連絡をし
現状を確認。

その後、面談希望者には面談日を設定し
対面またはオンラインにて面談を行う。



対面面談の前に面談で言い忘れ等がないようシートを郵送。
面談日に記載して持参してもらうことで、
言い忘れや緊張なく面談に挑むことが出来る。
これまでの経験・障害特性・配慮事項・就業に
対する条件など詳しくヒアリングを行う。

★面談時は、支援者・親御さん・コーチが同席
する場合もあります。

② 応募したい・出来る企業があった場合 応募のポイント

- ★ 年収
- ★ 競技活動費
- ★ 練習時間・活動内容

企業によっては年収に競技活動費が含まれる場合もあります。

- ★ 出社日数:アスリート専念型の場合でも企業によっては月に1回出社・オンラインで面談という場合もあります。

★ 雇用年数

競技専念型については、雇用年数が限定されている場合が多く見受けられます。

その後、継続雇用が出来る企業・出来ない企業に分かれます。

出来ない場合はアスリートは契約満了まで企業に在籍する又は転籍するなどに分かれます。

★ 勤務先

アスリート専念型は基本的には出社がないので全国規模での応募・採用が可能となります。

③ 面接について

基本的にはオンラインが中心となります。
重要となるのは、アスリートとしての展望。
セカンドキャリアについてなどヒアリングされる
ことが多いです。

④ 内定の基準は？

一概には言えませんが、20代～30代。
レベル的には各競技団体の育成・強化指定選手
が企業としても受け入れたいアスリートモデルで
す。

5)パラアスリートの就労事例

事例1 Aさん 20代 男性 療育手帳B2
面接回数2回:対面

就労移行の通所を経て念願の企業就労達成。
しかし、高校在学中から継続していた球技ス
ポーツにおいて、日本代表候補に選出。
業務がシフト制で週末の休暇取得が困難。
競技に専念したい！という想いから、アスリー
ト専念型への転職を決意。

転職については3つの課題

- 知的障がいの競技での競技専念型
- 知的障がいでパラリンピックに出れる

競技以外の推薦

- ★ 卓球・陸上・水泳
- 競技活動費・練習時間の管理

この課題について

スポーツ・コンプライアンス・オフィサーの同席により、明確な説明・雇用後のアドバイスにて解消。

事例2 Bさん 20代 女性 視覚障がい 面接回数:2回 対面

他社にてアスリート専念型で活躍。
しかし、企業からの競技活動費が少なく
何度か交渉、増額には至らず転籍相談に依
頼。

転籍についての課題

- 契約年数が決まっている
- 年収・競技活動費が本人の希望額面では
ない。

2回の面接で内定！

年収・競技活動費は、ほぼ本人と企業と合意

現在はアジアパラリンピック・ロスパラリンピックに向けて日々練習に励んでいます。

★ 視覚障がい者のパラアスリートについて
競技活動において、コーチ付帯が欠かせません。

陸上：伴走・コーラー（指示出し）

水泳：タッピング

この費用についても競技活動費からの負担となります！

事例3 Cさん 20代 男性：肢体不自由： 下肢障害 面接回数2回：1次対面 2次オンライン

地方にて企業で正社員として勤務。
競技で成績を伸ばしていくなかでアスリート専念型で企業で雇用され、競技活動をしたい。と登録。
初めての挑戦となりました。

転職についての課題

- 契約年数が決まっている



Cさんのセールスポイント

- 競技経験年数は短いが、短期間で記録を伸ばしている
- 連盟育成・強化指定選手である
- 今後のパフォーマンス期待できるアスリート

現在…

国内・国際大会で活躍するアスリートに！

事例4 Dさん 40代 女性 視覚障がい 面接回数:2回:対面

大学卒業後は正社員として企業に就業。
数回の転職を経てプライベート活動にてパラ競技をスタート。記録を伸ばしていくなかで国際大会に出場するなど成績を残す。
アスリート専念型で世界を目指したいと登録。

転職についての課題感

- パラリンピック以外の競技である
- アスリートとしては年齢が高め

Dさんのセールスポイント

- 社会経験・事務能力がある
- セカンドキャリアについての考えがしっかりしている
- 競技実績が国内・海外である

★ 選考時はこの競技はロスアンゼルスパラリンピックの正式種目ではありませんでした。



★アスリート採用での問題点

- 契約中に怪我をしたときはどうするか
- ユニフォームを作りたいけど規定などが細かくて良くわからない
- コーチとの提携はどうしたらいいのか
- アスリート活動費は、どこまでが活動費なのか、どのように支払いするのか



障害者スポーツの大会について

★ パラリンピック

(身体障がい・知的障がい:1部の競技)

次回は2028年8月 ロスアンゼルス

★ デフリンピック(聴覚障がい)

2025年11月15日～都内各地にて開催！

★ Virtus Global Games(知的障がい)

2027年11月 エジプト

ご清聴ありがとうございました



General Partners

やってみよう。楽しもう。